

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873900561
法人名	有限会社介護サービスゆう
事業所名	グループホームゆう
所在地	愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良3768番地3
自己評価作成日	平成21年9月17日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・社訓の「利用者様は我が父母なり」の思いで、お一人お一人に接している。家族のように明るく和やかな生活を送れるよう心がけている。</p> <p>・理念「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」という理念の基、利用者の今までの生活や地域との関わりを大切に、継続できるよう支援している。</p> <p>・環境に恵まれお天気の良い日は毎日隣接する小学校などに散歩に出かけている。</p> <p>・中庭で収穫した季節折々の野菜で食事を楽しませている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>毎日、交通の安全なコースを散歩されたり、毎日交代で買い物にも行かれている。近隣の小学校の運動場で生徒が運動する様子等を眺めたり、時には、利用者がブランコに乗ったり鉄棒をされることもある。近く、町外にさつまいも掘りに出かけることを予定されていた。</p> <p>2つのユニットの中庭には、菜園やうさぎ小屋があり、ベンチでは気の合う同士が笑顔でお話しをされていた。テレビの前に畳のコーナーがあり、ソファに座ってお話したり、正座して洗濯物をたたんでおられる方もあった。玄関には、利用者が作ったペーパーフラワーの作品や利用者が以前、町の社協からもらったボランティア活動の表彰状が飾られていた。洗面所の鏡を見ると混乱される方もあり、鏡はカーテンで目隠しされていた。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームゆう

(ユニット名) あんず

記入者(管理者)
氏名 二神和美

評価完了日 21年9月17日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) グループホームに関わる法令の意義を理解しており、自らのホームの運営上の方針や目標等に具体化している。「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい生活を送れるよう支援する」の理念に基づいたケアを実施している。	
			(外部評価) 「個性を尊重しその人らしい生活を支援する」ことを理念に揚げて、地域との関わりを大切に、利用者に「ここに来てよかった」と思っていただけのような支援に取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 小学校運動会・交流授業・小学校の太鼓クラブ・保育所のお祭りごっこなどの交流を図ったり、散歩時には挨拶や声かけを行ない地域との関わりを大切にしている。	
			(外部評価) 事業所では、毎日、散歩に出かけることを続けておられ、近所の方に声をかけてもらうことも増え、地域の方達に、年々ホームのことを知ってもらえて来ている。日頃から買い物によく行く「道の駅」で、利用者の顔を覚えてもらっていたこともあり、利用者が気ままに一人で出かけられた際、連絡をいただいた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 町主催の認知症の講演会に参加し、地域の方と意見交換を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議等で家族・利用者・民生委員などに参加 して頂き意見を取り入れ、常にサービスの向上に力を 入れている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議には、利用者も参加され、日常生活につ いての感想を話してもらっている。事業所で取り組ま れている行事等の活動報告や防災訓練の様子等を報告 して、ご意見をいただいたり、民生委員の方からは地 域の高齢者の現状についてもお話いただいた。会議議 事録をファイルして玄関に置いておられ、来訪された 方々に見ていただいている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 保健福祉課や地域包括支援センターと連携を取り合 い、報告・相談等行なっている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者は、感染症対策等、事業 所で気を付けること等について説明してくださってい る。利用者が行方不明になった時には、地域包括支援 センターに連絡をして、一緒に探していただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ミーティングで全職員に周知徹底をしている。個々に 応じてやむおえない場合のみご家族と話し合い同意を えている。</p> <p>(外部評価) 以前、利用者が行方不明になった後に、職員で対策を 話し合い、「利用者個々が、今、どこに居るのか」を 職員個々が把握して利用者の安全を守り、自由な暮ら しを支援し続けていくことに取り組まれている。利用 者が行方不明になった場合には、町内放送で放送して もらったり、写真を見せながら探すこともできるよ う、ご家族の了解を取っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティングで全職員に周知徹底をしている。職員は身体の虐待だけでなく精神面での虐待にも注意を払っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 事業所内で成年後見制度を利用している。又ミーティングで勉強会を行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い利用者、家族共に理解、納得の上契約、解約を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議等で家族や利用者が参加して意見を述べる場を設けている。又不満、苦情等があればその都度対応しサービス向上に努めている。 (外部評価) 年1回、お花見と併せて家族会を開催されている。又、運営推進会議にもご家族に交代で参加していただき、ご意見を聞いておられる。	利用者個々についての便りを送付されているが、事業所全体の取り組みを伝えるような報告も工夫されてはどうか。ご家族の知りたいことや心配なこと、又、事業所で力を入れて取り組んでいることや、支援の事例等、ご家族の意見もうかがいながら取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	月1回のミーティングで意見交換を行っている。又問題があればその都度話し合いを行い、早めに対応している。 法人や管理者は、ケアや環境作り等についても現場職員に意見を求めながら、取り組みをすすめておられる。又、職員同士や利用者とも相談しながら、畑やお花の世話をされている。	
			(外部評価)		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	代表者は利用者・職員の状況を把握する為、毎日訪問している。職員が安定した生活を送れるよう、給与は毎年昇給している。昨年度より退職金制度にも加入し、職員の処遇改善に努めている。	
			(外部評価)		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	研修会は可能な限り参加している。毎月ミーティングを行い、研鑽に努めている。定期的な自己評価を行い、自分自身を見つめ直す機会をもっている。	
			(外部評価)		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	他施設の催し物に参加したり交流を行なっている。	
			(外部評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	入所時に、本人の不安を取り除けるよう、希望をお聞きし安心して生活して頂けるよう努力している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所前に家族との話し合いを持ち、詳しくアセスメントを行なっている。又、何か問題があればその都度話し合いを持って家族の意向に沿える努力を行なっている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族、専門機関の意見を聞き、個々に合ったサービスの提供が行なえるよう努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は人生の先輩である利用者から学ぶ姿勢を心がけている。その中で得意なことに挑戦して頂いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族には利用者の状況をお伝えし、共に本人を支える為に相談等行なっている。又、家族が気軽に訪問され食事、外出、外泊など心穏やかな時間を過ごされたりして、交流の機会を大切にしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>親しい友人との交流、宗教の会合への参加など、これまでの生活が継続出来るよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お友達が訪ねて来られた際には、お茶をお出ししたり、居室や居間でゆっくり過ごせるよう声をかけておられる。又、以前されていたクロッケーの仲間に会いに行かれたり、得意な書道で奥様のお名前等を書くことを続けることも支援されている。</p>	<p>職員は、利用者個々のふるさとに行ってみたり、温泉に出かける等、好きなことを続けられるような支援に取り組んでいきたいと考えておられた。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者の個性、障害を把握したうえで良い関係が築けるよう職員が支援している。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	長期の入院が必要となり退所された利用者・家族に対して相談にのったり継続的に関わっている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	本人、家族等より詳しいアセスメントを行いセンター方式にてその人らしい生活を支援できるよう取り組んでいる。
			(外部評価)	
				利用者やご家族からお聞きしたことをセンター方式のアセスメント表に記入されていた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	本人、家族、関係機関等により、これまでの生活歴や病歴など詳しくアセスメントできるよう努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	利用者一人ひとりの一日の過ごし方や、心身状態の把握を行い、残存機能の維持向上に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月ミーティングで一人ひとりの状況を話し合い計画の評価見直しを行っている。利用者・ご家族の意見をお聞きし計画の見直しを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画についてご家族には、お電話等で意見をうかがったり、又、近くに住まわれているご家族を訪問して、計画を説明されている。毎月カンファレンスを行い、6ヶ月に1回は介護計画を見直しておられる。</p>	<p>アセスメントの充実をすすめ、又、ご本人やご家族の日頃の生活への意向や希望等も十分に採り入れて、ご本人がより良く暮らしていけるよう、現状に即した計画の作成に取り組みしてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子や、ケアの実施、結果、気づき等を個別記録に記入し、全職員で共有し介護計画に役立てている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族・利用者の要望に添えるよう対応している。利用者、ご家族の状況に応じて行きつけの理美容院や歯医者、通院・外出時の付き添い、送迎等行なっている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の生活の安定や拡がりの為に周辺地域の協力を得て支援している。(夜間パトロール、消防訓練)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人、家族の希望によりかかりつけ医を決定してい る。又、緊急時は協力医が対応してくれる。	
			(外部評価)	
			利用者ご家族の希望されるかかりつけ医に、職員が同 行されている。病院でご家族と落ち合い、受診後はご 家族と食事をされて事業所に帰るような方もいる。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			職場内の看護職員が定期的に身体状況の観察を行って いる。又訪問看護を利用する場合もある。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			利用者の情報提供を行い、安心した入院生活、又早期 退院へ向けての病院関係者との情報交換や相談に努め ている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			入所時、看取り指針の契約を行っている。本人、家族 の意向に沿えるよう協力医の往診、訪問看護の支援を 頂き終末期ケアに取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			入居時に看取りの指針を説明して、同意を得るよう になっている。その後は、状態変化時に、ご家族と具 体的な相談をすることになっている。入院された際、退 院の見込みがある場合には、居室をそのままにして待 つようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救命救急法の講習を定期的に受け緊急時の対処方法を学んでいる。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 利用者や施設の状態を考慮し夜間を想定した火災訓練の実施、グループホームすもも、宅老所職員への連絡、連携体制にて、避難、誘導など訓練している。 (外部評価) 夜間想定での避難訓練を行い、消防署の方から通報手順等のアドバイスをいただいた。避難場所は、お隣の小学校となっており、いざという時には、近くに住んでいる職員が駆けつけるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の尊厳・プライバシーの保持の為の取り組みを行なっている。名前を呼ぶ時は名字でお呼びする。尊敬の念を持って優しく敬語で接する。プライドを尊重するなど意識を介護にあたっている。 (外部評価) 「利用者は我が父母なり」の思いで、職員は、利用者への言葉使いに気を付けておられる。又、職員が利用者の居室に入る時には、ご本人に声をかけておられる。家事等、利用者のできることはご自分で行えるよう支援に心がけておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自立に向けての支援を心がけている。なるべく職員は手を出さず、見守りながらさりげない支援を行なっている。常に本人の意思を尊重している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 起床・就寝・食事時間等決まっていない。日中は買い物や畑、散歩など本人の希望に沿って支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者の希望に合わせて、職員の送迎で馴染みの理美容院に行かれる。又、衣服の選択お化粧品等も自由にされている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑で収穫した野菜を使い食事を一緒に作り楽しく食べている。片付けは利用者さんが中心にされている。出来ない部分を職員が援助している。	
			(外部評価) 畑で収穫した野菜や、道の駅等で買った地元の旬の野菜を使って調理されている。配膳されたり、ご自分の食器を下げて洗ったりと、利用者が自主的に行っておられる様子が見えた。職員も利用者と一緒に食事しながら、テレビニュースや食事内容の話題等で、和やかな食事風景であった。目の不自由な方には、職員がメニュー等の内容を案内しながら、ご自分で食事できるよう支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者一人ひとりの食事摂取量を記録している。水分はいつでも飲めるようにオーナージャックを置いている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 利用者に合わせて誘導や、見守りをし、歯磨き、入れ歯の手入れ、うがい等、口腔の清潔を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や昼のオムツをはずしたり、夜間も誘導を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>トイレに誘導することで、できるだけおむつを使わないで済むように支援されている。おしゃれな下着を使い続けられている方もあり、個々のこだわり等も続けられるよう支援されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々に合った便秘予防や排便チェックをし、体調管理を行っている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人の意思を尊重し好きな時間に入浴して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>檜風呂で香りも楽しみながら入浴ができるようになってきている。夕食後に入浴される方もあり、職員は、無理強いせず、利用者の希望を聞きながら支援されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その時々状況に応じて対応している。生活にリズムをつけたり、安心できる環境作りを行なっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者の使用する薬の目的や、副作用、用法や用量を確認し、医師の指示通りに服薬出来るよう支援し、症状の変化を観察している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々に合った役割が自然と出来ており、利用者同士が助け合って生活している。楽しみを共有しながら個人の趣味など生きがいを感じながら生活している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 自宅の畑作りに出かけたり、買い物や郵便局を出しに行かれるなど、個人の希望を出来るだけ聞き入れるように努めている。	
			(外部評価) 毎日、交通の安全なコースを散歩されたり、交代で買い物にも行かれている。近隣の小学校の運動場で生徒が運動する様子等を眺めたり、時には、利用者がプランコに乗ったり鉄棒をされることもある。近く、町外にさつまいも掘りに出かけることを予定されていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者が自分でお金を持つことの大切さを職員は分かっており、日常の金銭管理ができるよう、一人ひとりの希望や力に応じて支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や兄弟に電話されたり、年賀状や手紙などを送れるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂や居間に季節ごとの利用者の作品を展示したり、ソファ、畳、こたつ、一人用のひのき風呂など利用者が居心地良く過ごせる工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2つのユニットの間の中庭には、菜園やうさぎ小屋があり、ベンチでは気の合う同士が笑顔でお話しをされていた。テレビの前に畳のコーナーがあり、ソファに座ってお話したり、正座して洗濯物をたたんでおられる方もあった。玄関には、利用者が作ったペーパーフラワーの作品や利用者が以前、町の社協からもらったボランティア活動の表彰状が飾られていた。洗面所の鏡を見ると混乱される方もあり、鏡はカーテンで目隠しされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂や居間のこたつ、窓際のソファや、中庭のベンチなど、自由に好きな場所でくつろいで過ごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家での暮らしの延長を提供出来る様、自宅で使用されていた家具や身のまわりの小物などを持ってきて頂いて使用している。又希望をお聞きして畳を敷いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室にテレビを持ち込まれ、ご自分でお好きな時に楽しまれたり、編み物のお好きな方のお部屋には、色とりどりの毛糸玉が籠に入っていた。車椅子で居室内を安全に動けるように整理されている居室もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下、トイレ、風呂場に手すりを設置し、玄関、ホーム内のバリアフリーや、居室内の畳との段差解消など安全に生活出来る様取り組んでいる。</p>	